

2023 年度 年次報告書

東京理科大学国際化推進機構・国際化推進センター

* 目 次 *

国際化推進センター長挨拶	4
国際化推進機構・センター概要	5
国際化推進機構中期計画	6
< 1. 海外教育研究機関との連携 >	8
(1) 海外協定校	8
(2) 教員交流の推進	10
① 協定校への派遣教員事業	10
② 外国人招へい教員事業	10
③ 外国人招へい教員（オンライン）事業	11
< 2. 教員のグローバル化を促進するための在外研究員制度の拡充 >	12
在外研究員派遣事業	12
< 3. 学生の国際競争力を高めるプログラム整備 >	13
(1) 長期派遣・受入プログラム	13
① ダブルディグリープログラム	13
② 海外教育研究機関への派遣・受入	14
③ カリフォルニア大学 1 年留学プログラム	16
(2) 短期留学プログラム	17
① 語学研修プログラム	17
② グローバル研修プログラム	19
(3) 世界を身近にする環境整備	21
インターナショナルラウンジ	21
< 4. 大学院生の国際会議発表の促進 >	26
大学院博士後期課程学生国際学会等派遣事業	26
< 5. 若手研究者の国際会議派遣の推進 >	28
若手研究者国際学会派遣事業	28
< 6. 外国人教員の増員並びに研究室の国際化の推進 >	30
(1) 外国人教員の雇用	30
外国人教員の雇用状況	30

(2) 外国人留学生獲得による研究室の国際化の推進	31
①国費外国人留学生制度	31
②マレーシアツイニングプログラム	32
③IAESTE による海外学生の受入れ	32
④独立行政法人国際協力機構 (JICA) 事業による海外学生の受入れ	33
⑤国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) 「国際青少年サイエンス交流事業 (さくらサイエンスプログラム: SSP)」	33
⑥双方向交流プログラム派遣及び受入れ	34
⑦さくらサイエンスプログラム双方向交流派遣	35
⑧ビザ取得支援	35
⑨学内宿泊施設の管理・利用促進	36
 (3) 英語を用いた指導による研究室の国際化の推進	36
教員向け実務英語研修	36
 <7.その他>	38
(1) 学生への情報提供の充実、学習成果の証明	38
①留学・国際交流パンフレットの作成、Web サイトの更新	38
②チャットボットの導入・活用	38
③LINE	38
④オープンバッジの発行	39
 (2) 海外留学等における危機管理のための施策	40
① J-TAS 利用	40
② 危機管理研修の実施	40
 (3) 学外団体の利用	41
①トビタテ! 留学 JAPAN 新日本代表プログラム	41
②日本学生支援機構 (JASSO) 留学生支援事業	41
③日本学術振興会 (JSPS)	42
④JAFSA	42
⑤JCSOS	43
⑥IAESTE	43
⑦米国非営利教育財団スタディ・アブロード・ファウンデーション(SAF)	43
 (4) 外国人留学生数	44
外国人留学生数の状況	44

国際化推進センター長挨拶

国際化推進センター長 牧内 博幸

大学を取り巻く内外情勢が大きく変化し、グローバル化が大学における教育・研究においても急速に進展している中で、各学部・研究科における取り組みに加え、「東京理科大学国際化推進センター」が担う役割は益々重要となってきました。

本学では「日本の理科大から世界の理科大へ」というビジョンのもと、「学校法人東京理科大学中期計画 2026」における国際化の課題である以下の事項を優先的に実行に移しています。

・重点課題

1. 教員のグローバル化を促進するための在外研究員制度の拡充
2. 学生の国際競争力を高めるプログラム整備

・継続課題

1. 大学院生の国際会議発表促進
2. 若手研究者国際学会派遣の推進
3. 外国人教員の増員ならびに研究室の国際化の推進

また、これに加え、2023 年度からは「海外外部機関との連携強化」のための方策の検討を開始し、海外教育研究機関との交流の促進と、海外重点協定校の設定及び連携強化を戦略的に進めることとしています。

新型コロナウイルス感染症の影響下においては国際交流活動が大きく制限されていましたが、制限が無くなった今日においては、従来から実施している各種事業を完全に再開し、さらに発展させていく必要があります。

昨今の急激な円安と物価高により、海外派遣や海外留学等の国際交流活動を実施するには大変厳しい環境となっていますが、コロナ禍で定着した利便性の高いオンラインプログラムを効果的に併用することや各種支援を充実させることを通して、教職員及び学生の多様なニーズに応えられるようスピーディかつ柔軟に各種事業を展開していきます。

本報告書は、2023 年度における「東京理科大学国際化推進センター」の活動を取りまとめたものとなります。

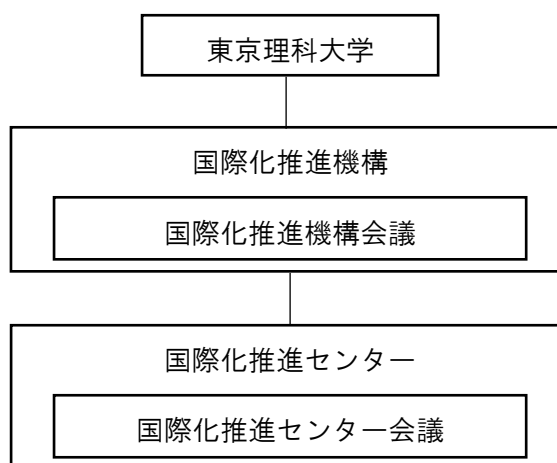
国際化推進センターでは、国際化の推進のため各種支援を充実させていきますが、より良い環境の実現のためには、学内のすべての教職員や学生の皆さまのご協力が不可欠となります。

今後とも、国際化推進センターの運営にご理解いただきますとともに、一層のご協力をよろしくお願いいたします。

国際化推進機構・国際化推進センター概要

1. 組織

(1) 組織図



(2) 国際化推進機構

国際化推進機構は、本学における国際化推進施策及び戦略を企画立案するとともに、全学的な観点からグローバル人材の育成と、国際連携を推進し、本学の国際的地位の向上を図ることを目的に、2015 年 4 月に設置された。本学の国際化を全学一体となって推進するため、「**学校法人東京理科大学中期計画 2026**」をもとに、2022 年度から 2026 年度までの 5 年間に実施すべき国際化推進の方針、目標、具体的施策の立案に取り組む。

【国際化推進機構会議】

国際化推進機構に、機構の運営に関する事項を審議するため、国際化推進機構会議（以下「機構会議」）を置く。機構会議は、次に掲げる事項を審議する。

- ① 国際化推進方針及び国際化推進戦略の策定に関する事項
- ② 機構の事業計画に関する事項
- ③ センターの設置及び改廃に関する事項
- ④ 機構の人事に関する事項
- ⑤ 機構に関する諸規程等の制定及び改廃に関する事項
- ⑥ その他機構の管理・運営に関する事項

(3) 国際化推進センター

国際化推進機構に国際化推進センター（以下「センター」）を置き、本学における国際化推進に係る諸施策を実施するとともに、学生及び教職員の国際活動を支援し、本学の教育研究の更なる国際化に資することを目的に、以下の活動を行う。

- ① 学生の海外派遣及び受入れに関すること
- ② 教職員の海外派遣及び受入れに関すること
- ③ 外国の大学等教育研究機関との国際交流協定に関すること
- ④ 学生の語学留学プログラムに関すること
- ⑤ その他本学の国際化推進に関すること

(4) 予算（当初配分額）及び執行額

2023 年度 国際化推進機構（国際化推進センター）

予 算：105,764,000 円

執行額：92,725,609 円（執行率 87.7%）

2. 国際化における重点課題・継続課題（中期計画 2026 をもとに）

(1) 「学校法人東京理科大学中期計画 2026」の中における国際化の重点課題

2022 年の 3 月に策定した「学校法人東京理科大学中期計画 2026」には、法人・大学が一丸となって取り組む目標や課題がまとめられている。その中で、本学の国際化は、「グローバルな社会において多様な人々と交わり共創できる力」に資するものとの位置づけである。今期（2022～2026）中は、下記 2 つの課題に重点的かつ優先的に取り組むことが求められている。

- ① 教員のグローバル化を促進するための在外研究員制度の拡充
- ② 学生の国際競争力を高めるプログラム整備

(2) 国際化における継続課題

上記に上げた 2 つの重点課題の他、継続的に取り組むべき具体的な課題として下記の 3 つが設定されている。

- ① 大学院生の国際会議発表促進
- ② 若手研究者国際会議派遣の推進
- ③ 外国人教員の増員ならびに研究室の国際化の推進

国際化推進センターの各事業と中期計画 2026 における各課題との関係をまとめたものが次の図である。

学校法人東京理科大学 中期計画2026 国際化重点課題

重点課題
中期計画

③-1 教員のグローバル化を促進するための在外研究員制度の拡充

③-2 学生の国際競争力を高めるプログラム整備

継続的に取り組む
重要課題

1. 大学院生の国際会議発表促進

2. 若手研究者国際会議派遣の推進

3. 外国人教員の増員ならびに研究室の国際化の推進

学校法人東京理科大学 中期計画2026 国際化重点課題

中期計画（2022-2026年度）重点課題
【③-1 教員のグローバル化を促進するための
在外研究員制度の拡充】

関連する国際化推進センター事業

- ・ 在外研究員派遣事業
- ・ 協定校への研究者派遣
- ・ 教員向け実務英語研修

継続課題

【2. 若手研究者国際会議派遣の推進】

関連する国際化推進センター事業

- ・ 若手研究者国際学会派遣事業

海外協定校との連携
・ 重点校の設定

重点課題【③-2】

学生の国際競争力を高めるプログラム整備

関連する国際化推進センター事業

- ・ 協定校等への派遣学生事業（大学院生・中長期）
- ・ ダブルディグリープログラム派遣（大学院生・中長期）
- ・ 海外共同研究先への短期派遣学生事業（大学院生・短期）
- ・ カリフォルニア大学1年留学プログラム（学部生・中長期）
- ・ 語学研修プログラム（学部生・短期）

ほか

継続課題

【1. 大学院生の国際会議発表促進】

関連する国際化推進センター事業

- ・ 大学院博士後期課程学生国際学会等派遣事業

継続課題

【3. 外国人教員の増員ならびに研究室の国際化の推進】

関連する国際化推進センター事業

- ・ 外国人招へい教員事業
- ・ 協定校等からの学生受入事業
- ・ 協定校等からの研究者受入事業
- ・ 国費外国人留学生制度

ほか

< 1. 海外教育研究機関との連携 >

(1) 海外協定校

2024 年 2 月 1 日現在、31 か国・地域の 80 大学 2 機関と協定を締結しており、教職員及び学生の交流、共同研究、情報交換等を行っている。

【地域・国別協定校数】

(地域・国は五十音順)

地域	国名	協定	地域	国名	協定
アジア	インド	3	欧州	フィンランド	1
	インドネシア	2		フランス	9
	韓国	6		ブルガリア	1
	シンガポール	1		ポーランド	1
	タイ	4		ポルトガル	1
	台湾	4		モルドバ共和国	1
	中国	14		リトアニア共和国	1
	ベトナム	1		ルーマニア	3
	マレーシア	2		ロシア	1
	計	37		計	35
欧州	アイルランド	1	中南米	コスタリカ	1
	イタリア	1		ドミニカ共和国	1
	イギリス	2		ブラジル	1
	オーストリア	2		計	3
	カザフスタン	1	北米	カナダ	2
	スペイン	3		アメリカ	5
	スロベニア	1		計	7
	ドイツ	5	総計		82

協定校一覧

インド	インド国立化学研究所	オーストリア	ウィーン工科大学
インド	チョウドリ・チャラン・シン大学	オーストリア	アッパーオーストリア応用科学大学
インド	インド理工科大学	カザフスタン	カザフ国立大学
インドネシア	バンドン工科大学	スペイン	カタルーニャ工科大学
インドネシア	アイルランガ大学	スペイン	マドリード工科大学
韓国	高麗大学	スペイン	ハエン大学
韓国	成均館大学	スロベニア	リュブリアナ大学
韓国	湖西大学	ドイツ	ハノーファー大学
韓国	ソウル大学校	ドイツ	科学技術・経済・デザイン・ヴィスマール専門大学
韓国	韓国中央大学	ドイツ	ロストック大学
韓国	釜山大学	ドイツ	オストバイエルン・レーゲンスブルク工科大学
シンガポール	シンガポール工科デザイン大学	ドイツ	イエナ応用科学大学
タイ	チェンマイ大学	フィンランド	ヘルシンキ大学
タイ	チュラロンコン大学	フランス	トゥルーズ建築学校
タイ	モンクット王工科大学ラカバン校	フランス	リール建築大学
タイ	アジア工科大学	フランス	パリ・ベルヴィル建築大学
台湾	国立陽明交通大学	フランス	国立リール化学大学院
台湾	国立中興大学	フランス	ナンシー建築大学
台湾	台北医学大学	フランス	国立宇宙航空大学院大学
台湾	台北科技大学	フランス	ストラスブール大学
中国	新疆大学	フランス	パリ第1（パンテオン－ソルボンヌ）大学
中国	天津大学	フランス	リール大学
中国	上海交通大学	ブルガリア	ブルガリア科学アカデミー
中国	中国石油大学（北京）	ポーランド	アダム・ミツキェヴィチ大学
中国	浙江大学	ポルトガル	リスボン工科大学
中国	鄭州大学	モルドバ共和国	モルドバ工科大学
中国	西安交通大学	リトアニア共和国	ヴィリニウス大学
中国	北京科技大学	ルーマニア	アレクサンドル・ヨアン・クザ大学
中国	大連理工大学	ルーマニア	ブカレスト工科大学
中国	曲阜師範大学	ルーマニア	ヤシ工科大学
中国	中国科学院大学	ロシア	モスクワ電力工学研究所（工科大学）
中国	中国石油大学（華東）	コスタリカ	コスタリカ大学
中国	大連医科大学	ドミニカ共和国	カトレカ・マドレ・マエストラ大学
中国	湘潭大学	ブラジル	サンパウロ大学
ベトナム	国立土木工学大学	カナダ	ウォータールー大学
マレーシア	マラヤ大学	カナダ	サスカチュワン大学
マレーシア	国際医療大学	アメリカ	メリーランド大学
アイルランド	メイヌース大学	アメリカ	カリフォルニア大学デビス校
イタリア	モデナ・レッジョ・エミリア大学	アメリカ	コネチカット大学
イギリス	ブルネル大学	アメリカ	スタンフォード大学医学研究科睡眠研究所
イギリス	キングストン大学	アメリカ	南カリフォルニア大学

(2) 教員交流の推進

①協定校への派遣教員事業

本学教員と協定校の教員の共同研究の推進、及び交流に関する打合せ等を目的としている。

【国際化推進センター負担経費】

航空賃：エコノミークラスの往復航空賃（空港までの国内旅費を含む）

日 当：派遣先地域によって支給額が異なる

宿泊費：派遣先地域によって支給額が異なる

※ 派遣先機関から旅費が支給される場合は、重複する費目は支給しない。

【2023 年度実績】

派遣教員数：2 名

国際化推進センター予算執行額：1,217,257 円

所属	職名	国・地域	都市	受入研究機関	派遣期間			派遣日数
創域理工学部先端化学科	教授	アメリカ	メリーランド	メリーランド大学	2023/9/25	～	2023/9/29	5
先進工学部 機能デザイン工学科	嘱託助教	シンガポール	シンガポール	シンガポール工科 デザイン大学	2024/3/9	～	2024/4/6	29

②外国人招へい教員事業

外国の学界で活躍する優れた外国人教員等を本学に一定期間招へいすることで、当該学部および研究科等の国際化推進に寄与することを目的としている。

【国際化推進センター負担経費】

航空費：エコノミークラスの往復航空賃

滞在費：日額 10,000 円～12,000 円（客員宿舎を利用しない場合は 15,000 円～17,000 円）

【2023 年度実績】

招へい者数：7 名

国際化推進センター予算執行額：3,289,047 円

	学部・研究科	学科・専攻	招へい研究者所属機関名	招へい研究者職名	国・地域	招へい期間		滞在日数
1	先進工学部	機能デザイン工学科	Arts et Metiers Sciences et Technologies	准教授	フランス	2023年4月15日	～ 2023年5月8日	24
2	工学研究科	建築学専攻	リベレッツ工科大学	教授	チェコ共和国	2023年9月16日	～ 2023年9月29日	14
3	薬学部	薬学科	Middlesex University	教授	イギリス	2023年12月11日	～ 2023年12月24日	14
4	教養教育研究院	葛飾キャンパス教養部	Hungarian Academy of Sciences	准教授	ハンガリー	2023年10月30日	～ 2023年11月13日	15
5	経営学部	国際デザイン経営学科	Reutlingen University	教授	ドイツ	2023年10月24日	～ 2023年11月8日	16
6	先進工学部	マテリアル創成工学科	The University of Liverpool	教授	イギリス	2023年12月11日	～ 2023年12月24日	14
7	理学部第一部	応用化学科	Shandong University	教授	中国	2024年3月5日	～ 2024年3月19日	15

③外国人招へい教員（オンライン）事業

優れた教育研究の実績を有する外国人教員・研究者を本学にオンラインで招へいし、英語による専門分野の講義・講演等の実施を通じて、オンラインを活用した教育・研究活動の経験を共有し、当該学部および研究科の教育研究の国際化を推進することを目的としている。

【国際化推進センター負担経費】

謝 金 ： 講義・講演 1 回につき、20,000 円～30,000 円

海外送金手数料：実費

【2023 年度実績】

招へい者数：4 名

国際化推進センター予算執行額：140,500 円

	学部・研究科	学科・専攻	招へい研究者所属機関名	招へい研究者職名	国・地域	招へい期間	実施日数
1	理学部第二部	化学科	Central Connecticut State University	准教授	アメリカ	2023年6月1日 ～ 2023年6月1日	1
2	先進工学部	生命システム工学科	A*STARシンガポール科学技術庁	主席研究員	シンガポール	2023年12月11日 ～ 2023年12月15日	期間のうち1日
3	理学部第二部	化学科	Obafemi Awolowo University	上級講師	ナイジェリア	2023年12月7日 ～ 2023年12月7日	1
4	創域理工学部	情報計算科学科	University of Roma Tor Vergata	准教授	イタリア	2023年12月11日 ～ 2023年12月15日	期間のうち1日

< 2. 教員のグローバル化を促進するための在外研究員制度の拡充 >

在外研究員派遣事業

東京理科大学の専任教員を海外に一定期間派遣し、専門分野に関する研究に専念させる機会を与え、教員の教育及び研究能力を向上させるとともに、当該事業での経験を活かし、外国語による専門科目の講義・研究指導が行える教員を養成すること、及び派遣先大学等学術研究機関と将来にわたり共同研究を遂行するための基盤を構築することを目的としている。

【国際化推進センター負担経費】

渡航費：エコノミークラスの往復航空賃

滞在費：月額 20 万円または 25 万円

※派遣先地域によって支給額が異なる

【2023 年度実績】

(任期の定めのない教員)

採択：9 名

国際化推進センター予算執行額：20,302,199 円

	学部・研究科	学科	職名	受入研究機関	国・地域名	派遣期間			派遣日数
1	理学部第一部	応用数学科	准教授	Department of Applied Mathematics and Theoretical Physics, Faculty of Mathematics, University of Cambridge	イギリス	2024年3月22日	～	2025年3月21日	365
2	理学部第二部	数学科	講師	Université de Nantes	フランス	2023年9月1日	～	2024年1月31日	153
3	創域理工学部	情報計算科学科	准教授	Ghent University	ベルギー	2023年4月1日	～	2023年9月1日	154
4	創域理工学部	生命生物科学科	准教授	University of Adelaide, Department of Chemistry, school of Physical Sciences	オーストラリア	2023年6月5日	～	2023年8月25日	82
5	創域理工学部	電気電子情報工学科	准教授	The Hong kong Polytechnic University	香港	2023年8月24日	～	2023年11月30日	99
6	経営学部	経営学科	准教授	The University of Queensland	オーストラリア	2023年4月2日	～	2024年3月18日	352
7	経営学部	ビジネスエコノミクス学科	講師	London School of Economics, Center for Philosophy of Natural and Social Science	イギリス	2023年9月9日	～	2024年8月22日	349
8	教養教育研究院	神楽坂キャンパス教養部	教授	SOAS University of London (School of Oriental and African Studies)	イギリス	2023年9月11日	～	2024年9月3日	359
9	教養教育研究院	葛飾キャンパス教養部	准教授	Department of Political Science, Northeastern Illinois University	アメリカ	2023年5月1日	～	2024年2月29日	305

(任期付き教員)

採択：2 名

国際化推進センター予算執行額：6,143,922 円

	学部・研究科	学科	職名	受入研究機関	国・地域名	派遣期間			派遣日数
1	理学部第一部	数学科	嘱託助教	Aalborg University, Aarhus University	デンマーク	2023年4月11日	～	2023年8月17日	129
2	創域理工学部	建築学科	嘱託助教	University of Architecture Ho Chi Minh City	ベトナム	2023年9月1日	～	2024年3月4日	175
						(2023年10月1日～2023年10月11日の期間を除く)			
3	創域理工学部	機械工学科	嘱託助教	Department of Human Physiology, University of Oregon	アメリカ	2023年4月6日	～	2024年3月27日	357

< 3. 学生の国際競争力を高めるプログラム整備 >

(1) 長期派遣・受入プログラム

①ダブルディグリープログラム

本学と海外の協定校の両大学で学び、それぞれの必要要件を満たす学生が、修了時に両大学で学位を取得することができるプログラムである。現在、「国立陽明交通大学」及び「台北医学大学」とダブルマスターディグリー（DMD）に係る協定を、「サスカチュワン大学」と DMD 及びダブルドクターディグリー（DDD）に係る協定を締結し、学生の派遣・受入を行っている。

【国際化推進センター負担経費】

I.ダブルディグリープログラム（派遣）

「海外教育研究機関（協定校含む）への派遣学生」の制度を利用して次の経費を負担する。

渡航費：日本発の往復航空券（上限 25 万円）を現物支給する。

日 当：上限額の 18 万円を支給する。

宿泊費：上限額の 27 万円を支給する。

（サスカチュワン大学との DMD/DDD のみ）

上記に加え、先方大学の意向から、サスカチュワン大学とは授業料相互不徴収の取り決めを行っていないため、参加学生にとって経済的負担を軽減する目的で、留学期間中の本学学生の本学授業料及び施設設備費に相当する額を免除する。

※他の DMD 実施先大学とは授業料等不徴収の取り決めを行っている。

国際化推進センター予算執行額：300,000 円

II.ダブルディグリープログラム（受入）

各大学との協定にて、受入学生の本学在籍期間中の授業料等不徴収を定めているため、不徴収相当分を国際化推進センター予算で負担する。

国際化推進センター予算執行額：2,355,000 円

【各プログラム概要及び派遣受入実績】

㊦ 国立陽明交通大学（台湾）との DMD プログラム

創域理工学研究科経営システム工学専攻と、台湾の国立陽明交通大学 Department of Industrial Engineering and Management in the College of Management との相互交流プログラムである。

修士課程の一定期間、他方の大学で研究し、両大学のそれぞれの必要要件を満たす者は、次の 2 つの学位を得ることができる。

東京理科大学修士（工学）／国立陽明交通大学修士（Master of Science）

【2023 年度実績】

派遣者数：0 名 受入者数：2 名

④ 台北医学大学との DMD プログラム

先進工学研究科マテリアル創成工学専攻と、台湾の台北医学大学 College of Biomedical Engineering との相互交流プログラムである。

修士課程の一定期間、他方の大学で研究し、両大学のそれぞれの必要要件を満たす者は、次の 2 つの学位を得ることができる。

東京理科大学修士（工学）／台北医学大学修士（Master of Science）

【2023 年度実績】

派遣者数：0 名 受入者数：1 名

⑤ サスカチュワン大学との DMD プログラム

先進工学研究科物理工学専攻と、カナダのサスカチュワン大学 Department of Physics and Engineering Physics, College of Art and Science との相互交流プログラムである。

修士課程の一定期間、他方の大学で研究し、両大学のそれぞれの必要要件を満たす者は、次の 2 つの学位を得ることができる。

東京理科大学修士（工学）／サスカチュワン大学修士（Master of Science）

【2023 年度実績】

派遣者数：0 名 受入者数：0 名

⑥ サスカチュワン大学との DDD プログラム

先進工学研究科物理工学専攻と、カナダのサスカチュワン大学 Department of Physics and Engineering Physics, College of Art and Science との相互交流プログラムである。

博士課程の一定期間、他方の大学で研究し、両大学のそれぞれの必要要件を満たす者は、次の 2 つの学位を得ることができる。

東京理科大学博士（工学）／サスカチュワン大学博士（Doctor of Philosophy）

【2023 年度実績】

派遣者数：1 名 受入者数：0 名

② 海外教育研究機関への派遣・受入

I. 海外教育研究機関への派遣学生

外国の大学等学術研究機関へ中長期の研究を目的として学生を派遣するプログラムである。本学指導教員と派遣先大学教員との間で共同研究を実施しており、派遣学生の共同指導に係る合意がとれている必要がある。

【国際化推進センター負担経費】

渡航費：日本発の往復国際航空券（上限 25 万円）を現物支給する。

日 当：1 日につき、1,000 円とし、18 万円を上限とする。

宿泊費：1 泊につき、1,500 円とし、27 万円を上限とする

【2023 年度派遣実績】

派遣者数：21 名

国際化推進センター予算執行額：10,524,490 円

	本学との協定の有無	派遣先大学	派遣先国	学部・学科／研究科・専攻	派遣期間（予定含む）		派遣 日数
1	有	ハノーファー大学	ドイツ	経営学部/経営学科	2023年4月1日	～ 2024年3月31日	366
2	有	ハノーファー大学	ドイツ	経営学部/ビジネスエコノミクス学科	2023年4月1日	～ 2023年9月30日	183
3	無	ユヴァスキュラ大学	フィンランド	理学研究科/化学専攻	2023年5月1日	～ 2023年7月29日	90
4	無	ミュンヘン工科大学	ドイツ	理学研究科/化学専攻	2023年5月17日	～ 2023年8月14日	90
5	有	ウィーン工科大学	オーストリア	理学研究科/化学専攻	2023年5月17日	～ 2023年8月16日	92
6	無	ウィーン大学	オーストリア	理学研究科/科学教育専攻	2023年5月17日	～ 2023年6月17日	32
7	有	ウィーン工科大学	オーストリア	工学研究科/建築学専攻	2023年9月14日	～ 2024年7月20日	311
8	無	ローマ・トルヴェガダ大学	イタリア	創域理工学研究科/情報計算科学専攻	2023年9月12日	～ 2023年12月9日	89
9	無	アデレード大学	オーストラリア	理学研究科/化学専攻	2023年9月25日	～ 2023年12月24日	91
10	無	ストラスカイト大学	イギリス	創域理工学研究科/機械航空宇宙工学専攻	2023年10月15日	～ 2024年4月16日	185
11	有	メリーランド大学	アメリカ	創域理工学研究科/先端化学専攻	2023年9月25日	～ 2023年10月24日	30
12	無	インド科学教育研究大学	インド	理学研究科/化学専攻	2023年10月1日	～ 2023年12月26日	87
13	有	ブルネル大学	イギリス	工学研究科/機械工学専攻	2023年11月8日	～ 2023年12月23日	46
14	無	インド工科大学	インド	理学研究科/化学専攻	2023年11月5日	～ 2023年12月20日	46
15	有	リール建築大学	フランス	創域理工学研究科/建築学専攻	2024年2月19日	～ 2024年8月18日	182
16	有	リール建築大学	フランス	創域理工学研究科/建築学専攻	2024年2月19日	～ 2024年8月18日	182
17	有	リール建築大学	フランス	創域理工学研究科/建築学専攻	2024年2月1日	～ 2024年8月1日	183
18※	有 (DDD)	サスカチュワン大学	カナダ	理学研究科/応用物理学専攻	2024年1月1日	～ 2024年12月13日	348
19	有	ナンシー建築大学	フランス	創域理工学研究科/建築学専攻	2024年2月1日	～ 2024年7月31日	182
20	無	パリ市立工業物理化学学校	フランス	創域理工学研究科/機械航空宇宙工学科	2024年1月31日	～ 2024年3月14日	44
21	有	カタルーニャ工科大学	スペイン	工学研究科/建築学専攻	2024年3月28日	～ 2025年3月26日	364

※ ㊦サスカチュワン大学との DDD プログラムとの重複あり。

II. 海外教育研究機関からの受入れ学生

教育研究環境の国際化を目的として、外国の大学等学術研究機関から、研究目的の学生を 1 か月～1 年間、本学の研究室で受け入れる制度である。授業料不徴収の対象学生または希望する場合は、授業料不徴収（国際化推進センター負担）としている。

【2023 年度受入れ実績】

受入者数：11 名

国際化推進センター予算執行額：5,379,167 円

	本学との協定の有無	派遣大学	派遣国	学部・学科/研究科・専攻	受入期間			受入日数
1	無	パリ国立先端技術学校	フランス	工学研究科 / 機械工学専攻	2023年4月10日	～	2023年9月22日	166
2	無	ブルターニュ国立先端技術研究所	フランス	工学研究科/機械工学専攻	2023年5月1日	～	2023年8月31日	123
3	無	ブルターニュ国立先端技術研究所	フランス	工学部 / 機械工学科	2023年5月1日	～	2023年8月27日	119
4	無	ブルターニュ国立先端技術研究所	フランス	工学部 / 機械工学科	2023年5月1日	～	2023年8月27日	119
5	有	ナンシー建築大学	フランス	創域理工学研究科/建築学専攻	2023年9月1日	～	2024年8月31日	366
6	有	ナンシー建築大学	フランス	創域理工学研究科/建築学専攻	2023年9月3日	～	2024年8月31日	364
7	有	リール建築大学	フランス	創域理工学研究科/建築学専攻	2024年3月24日	～	2024年12月24日	276
8	有	リール建築大学	フランス	創域理工学研究科建築学科	2024年3月24日	～	2024年12月24日	276
9	有	上海交通大学	中国	創域理工学研究科/先端化学専攻	2023年11月18日	～	2024年10月31日	349
10	無	ノルウェー科学技術大学	ノルウェー	創域理工学研究科/建築学専攻	2023年11月27日	～	2023年12月20日	27
11	無	釜山大学	韓国	工学研究科 / 電気工学専攻	2024年1月15日	～	2024年1月26日	12

③カリフォルニア大学 1 年留学プログラム

1 年間、カリフォルニア大学デイビス校が実施する Global Study Program に参加する学部学生を対象とするプログラムである。通常 3 月下旬に渡航し、春・夏学期は英語集中授業を受講し、秋・冬学期の履修要件を満たす場合は、秋・冬学期の 2 学期間、授業登録を許可された正規の科目を履修して単位を修得することができる。学科により単位互換が可能な科目を履修すれば、修得した単位は本学の単位として認定される。また、留学期間中は本学に在籍し、休学とはしない。

【国際化推進センター負担経費】

授業料等：当該年度の本学授業料（授業料・施設設備費）

渡航費：成田/羽田⇄サンフランシスコの往復分

【2023 年度派遣実績】

参加学科数：29 学科

派遣者数：2 名

国際化推進センター予算執行額：3,683,460 円

(2) 短期留学プログラム

①語学研修プログラム

夏期休暇期間又は学年度末の約 1 か月間、学生を海外へ派遣するプログラムであり、現地の英語での授業の受講により英語スキルを向上させるとともに、異文化体験を通じて広い視野と国際感覚を養うことを目的とする。本プログラムは、本学が企画し、旅行企画及び実施を業者へ委託している。参加費用は、受益者負担として全額参加学生が負担する。2023 年度は以下のとおり実施した。

【夏期実施プログラム】

プログラム名称	バンクーバープログラム	バンクーバープログラム
プログラム実施機関	ブリティッシュコロンビア大学	Canadian College of English Language(CCEL)語学学校
実施期間	2023 年 8 月 6 日～8 月 27 日(22 日間)	2023 年 8 月 13 日～9 月 3 日(22 日間)
実施形態	渡航型	渡航型
参加者数	7 名	10 名

プログラム名称	サンフランシスコプログラム	マンチェスタープログラム
プログラム実施機関	カリフォルニア大学デイビス校	マンチェスター大学
実施期間	2023 年 8 月 10 日～9 月 10 日(32 日間)	2023 年 8 月 12 日～9 月 10 日(30 日間)
実施形態	渡航型	渡航型
参加者数	15 名	6 名

※以下プログラムについては、実施に係る最少催行人数を満たさず不催行となった。

- ・ケンブリッジプログラム(ケンブリッジ大学ホマートン校)
- ・ロサンゼルスプログラム(カリフォルニア大学アーバイン校)

【春期実施プログラム】

プログラム名称	ビクトリアプログラム	サンフランシスコプログラム
プログラム実施機関	ビクトリア大学	カリフォルニア大学デイビス校
実施期間	2024 年 2 月 4 日～3 月 3 日(29 日間)	2024 年 2 月 15 日～3 月 17 日(32 日間)
実施形態	渡航型	渡航型
参加者数	20 名	18 名

プログラム名称	バンクーバープログラム
プログラム実施機関	ブリティッシュコロンビア大学
実施期間	2024 年 2 月 18 日～3 月 17 日(29 日間)
実施形態	渡航型
参加者数	12 名

※以下プログラムについては、実施に係る最少催行人数を満たさず不催行となった。

- ・ハワイプログラム（ハワイ大学マノア校）
- ・サンフランシスコプログラム（カリフォルニア大学デビス校）（オンライン型）

語学研修プログラムへの各年度の学部・研究科別の参加者数は次の表のとおりである。

学部/研究科別 参加者一覧	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
理学部第一部	16	29	1	1	5	7
理学部第二部	3	6	0	0	1	2
工学部	18	25	0	1	5	13
薬学部	2	5	2	0	0	2
創域理工学部 (2023 年 4 月名称変更)	25	36	5	4	7	25
先進工学部	22	32	1	1	9	15
経営学部	32	17	0	2	7	24
学部計	118	150	9	9	34	88
理学研究科	0	1	0	0	0	0
工学研究科	0	0	0	0	0	0
薬学研究科	0	0	0	1	0	0
創域理工学研究科 (2023 年 4 月名称変更)	0	0	0	2	0	0
先進工学研究科	0	1	0	0	0	0
経営学研究科	0	0	0	0	1	0
生命科学研究科	0	0	0	0	0	0
大学院計	0	2	0	3	1	0
合計	118	152	9	12	35	88

②グローバル研修プログラム

国境を超えた学びと交流の機会を提供し、異文化に触れながら新たな視野を広げ、自己成長を促進することを目的としたプログラムである。これまで、年度末の1～2週間程度、シリコンバレー（アメリカ・カリフォルニア州）近郊へ学生を派遣し、現地の企業・ベンチャーキャピタルを訪問するとともに、起業家・研究者・本学同窓生とのディスカッションを通じて、キャリアパスについて考えるプログラム（シリコンバレープログラム）を展開してきた。

2023 年度は、シリコンバレープログラムを企画運営している者の都合により、実施は見送りとなった。

各種派遣プログラムの過去5年間の推移

	プログラム名		派遣先国 ・地域	派遣先大学	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
語学研修プログラム	夏期	サンフランシスコプログラム	米国	カリフォルニア大学デビス校	11	中止	5**	0**	15
		ロサンゼルスプログラム	米国	カリフォルニア大学アーバイン校	9		—	—	0***
		シアトルプログラム	米国	ワシントン大学	—		2**	—	—
		マンチェスタープログラム	英国	マンチェスター大学	11		—	—	6
		ケンブリッジプログラム	英国	ケンブリッジ大学ホマートン校	18		—	—	0***
		ビクトリアプログラム	カナダ	ビクトリア大学	—		1**	—	—
		バンクーバー (CCEL) プログラム	カナダ	Canadian College of English Language	15		—	—	10
		バンクーバー (UBC) プログラム	カナダ	ブリティッシュコロンビア大学	—		—	0**	7
		キングストン (ロンドン) プログラム	英国	キングストン大学	29		—	—	—
		セブプログラム	フィリピン	SMEAG	17		—	—	—
	春期	ブリスベンプログラム	オーストラリア	クイーンズランド大学	6	—	—	—	—
		サンフランシスコプログラム	米国	カリフォルニア大学デビス校	—	—	1**	11	18
		サンフランシスコプログラム (オンライン)	米国	カリフォルニア大学デビス校	—	—	—	—	0***
		ロサンゼルスプログラム	米国	カリフォルニア大学アーバイン校	5	1**	—	9	—
		ハワイプログラム	米国	ハワイ大学マノア校	—	3**	—	1	0***
		バンクーバー (UBC) プログラム	カナダ	ブリティッシュコロンビア大学	9	1**	3**	—	12
		ケンブリッジプログラム	英国	ケンブリッジ大学ホマートン校	8	2**	—	—	—
		ビクトリアプログラム	カナダ	ビクトリア大学	中止*	2**	—	14	20
		マレーシアプログラム	マレーシア	アジアパシフィック大学	中止*	—	—	—	—
		セブプログラム	フィリピン	SMEAG	15	—	—	—	—
小計					153	9	12	35	88
インターンシップ (キャリアパス啓発)	シリコンバレー研修プログラム		米国		中止*	中止*	中止*	24	—
小計					0	0	0	24	0
協定校への派遣	カリフォルニア大学1年留学プログラム		米国	カリフォルニア大学デビス校	0	2	中止*	5	2
	オストバイエルン・レーゲンスブルク工科大学への 経営学生派遣		ドイツ	オストバイエルン・レーゲンス ブルク工科大学	4	中止*	中止*	2	0
	ハノーファー大学への経営学生派遣		ドイツ	ハノーファー大学	2			0	2
	国立陽明交通大学とのDMDプログラム		台湾	国立陽明交通大学	0	1	2	0	0
	台北医学大学とのDMDプログラム		台湾	台北医学大学	0	0	0	0	0
	サスカチュワン大学とのDMDプログラム		カナダ	サスカチュワン大学	—	1	0	0	0
	サスカチュワン大学とのDDDプログラム		カナダ	サスカチュワン大学	—	—	—	—	1
	指導教員同士の共同研究に基づく派遣 (1ヶ月以上)				10	中止*	1	6	9
	指導教員同士の共同研究に基づく派遣 (1ヶ月未満)				—		—	—	0
	双方向短期留学プログラム (西安交通大学)		中国	西安交通大学	0		中止*	—	—
	双方向短期留学プログラム (大連理工大)		中国	大連理工大	12		—	—	—
	小計					28	4	3	13
協定校以外への派遣	指導教員同士の共同研究に基づく派遣 (1ヶ月以上)				6	中止*	1	9	
	指導教員同士の共同研究に基づく派遣 (1ヶ月未満)				1		中止*	—	—
	大学院博士後期課程学生国際学会派遣				42		23	29	
	トビタテ！留学ジャパンによる派遣 (外部機関)				7		1	—	1
	IAESTE (イアエステ) による派遣 (外部機関)				—	—	—	—	—
小計					56	0	1	24	39
さくらサイエンス双方向 交流派遣	浙江大		中国	浙江大	—	中止*	中止*	—	—
	ハノイ工科大学		ベトナム	ハノイ工科大学	7			—	—
	ベトナム国家大		ベトナム	ベトナム国家大	—			—	7
	ブネー大		インド	ブネー大	—			—	—
	曲阜師範大		中国	曲阜師範大	0			—	—
	インドネシアイスラム大		インドネシア	インドネシアイスラム大	8			—	—
	シーナカリンウィロート大・チュラロンコン大		タイ	シーナカリンウィロート大・ チュラロンコン大	9			—	—
	チュラロンコン大		タイ	チュラロンコン大	12			—	—
	チトカラ大		インド	チトカラ大	6			—	—
	マラヤ大		マレーシア	マラヤ大	13			—	—
小計					55	0	0	0	7
合計				292	13	16	96	148	

*新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

**代替オンラインプログラムを実施

***最少催行人数を満たさず不催行

(3) 世界を身近にする環境整備

インターナショナルラウンジ

インターナショナルラウンジは、「世界の入り口はインターナショナルラウンジ」をコンセプトに、多様な価値観を共有する場の提供、及び学生の英語学習や海外留学への動機付けを行うことを目的とした学生向けサービスの総称である。

2023 年度は、学生向けに㊦英会話サービス「Casual Talking」、㊩各種セミナー、㊪各種イベント、㊫英語プレゼンテーションコーチングサービス「Brush Up! Presentation」、合計 4 種類のサービスを全て無料で提供した。

上記のうち、「Casual Talking」は既存の英会話サービスが 2023 年度に新規名称となったものであり、「Brush Up! Presentation」は 2023 年度から新規に開設した英語プレゼンテーション技術向上に係るサービスである。

インターナショナルラウンジ利用状況

【2023 年度インターナショナルラウンジ利用状況】（ ）は前年度実績

	Casual Talking	セミナー	イベント	Brush Up! Presentation	総計
利用者	5,570 名	236 名		51 名	5,857 名
延べ数	(3,552 名)	(230 名)		(過年度実績 なし)	(3,782 名)

⑦英会話サービス「Casual Talking」

様々な国籍のネイティブ講師と英語でフリートークを楽しめるサービスとして実施している。
株式会社アルプロスに業務委託し、2023 年度はオンラインのみで実施した。

	前期	後期	春休み
講師数	3 名	3 名	2 名
期間	2023 年 4 月 17 日から 2023 年 8 月 22 日 (実働 105 日)	2023 年 8 月 24 日から 2023 年 12 月 22 日 (実働 100 日)	2024 年 1 月 17 日から 2024 年 3 月 15 日 (実働 41 日)
時間	月～金・日 (土曜日・祝祭日を除く講師派遣期間毎日) ①13:10～17:10 ②17:20～21:20 ・①、②の時間帯でそれぞれ講師 1 名ずつ	月～金・日 (土曜日・祝祭日を除く講師派遣期間毎日) ①13:10～17:10 ②17:20～21:20 ・①、②の時間帯でそれぞれ講師 1 名ずつ	月～金 (土日・祝祭日を除く講師派遣期間毎日) ①13:10～17:10 ②17:20～21:20 ・①、②の時間帯でそれぞれ講師 1 名ずつ
利用者数 (コマ毎の延べ数)	2,586 名	1,915 名	1,069 名
経費	・国際化推進センター 予算から支出 ・講師派遣委託費： 4,400 円/1 時間×4 時間 ×105 日×2＝ <u>3,696,000 円</u>	・こうよう会国際化推進 助成金から支出 ・講師派遣委託費： 4,400 円/1 時間×4 時間 ×100 日×2＝ <u>3,520,000 円</u>	・こうよう会国際化推進 助成金から支出 ・講師派遣委託費： 4,400 円/1 時間×4 時間× 41 日×2＝ <u>1,443,200 円</u>

①・⑨各種イベント・セミナー

開催数 : 27 回

参加学生数 : 236 名

国際化推進センター予算執行額 : 1,583,260 円

2023 年度インターナショナルラウンジセミナー

	講座名	形式	開催日	時間	定員	参加者数	委託先	講座開催費用	対象	講座説明
1	TOEIC®勉強法講座	オンライン	5/12 (金)	18:00-21:00	20	21	日米会話学院	¥60,000	・TOEIC®のスコアアップにつながる学習法、テキストを知りたい学生	TOEIC®の勉強法を紹介する講座です。 パート別に、正答率をあげるのに「最適な学習方法」を紹介し、最適な学習方法を「正しいやり方」で学習することで学習時間の短縮を目指します。
2	TOEFL®iBT講座～Listenig & Readingパートを学ぶ～	オンライン	5/29 (月)	18:00-21:00	20	10	日米会話学院	¥60,000	・TOEFL®iBTを受験予定の学生 ・海外留学の準備をしている学生	TOEFL®TOEFL iBTの対策講座です。 外国人講師からTOEFL®iBTのListening&Reading パートについて学びます。ITP (団体受験) テスト対策としても有効です。 講座は全て英語で行います。
3	TOEIC®800点突破講座	オンライン	6/8 (木)	18:00-21:00	20	9	日米会話学院	¥60,000	・TOEIC®を受験したことがある学生 ・TOEIC®800点突破を目指す学生	TOEIC®の対策講座です。 TOEIC800点突破に向けて、押さえておかなければならないPart及び問題タイプに絞り込み特徴と攻略法について学びます。高得点を狙うための勉強法を紹介し、継続的な勉強を促します。
4	Academic Writing講座	オンライン	6/27 (火)	18:00-21:00	20	12	日米会話学院	¥60,000	・英語での論文・レポート作成に不慣れた学生 ・英語論文の執筆のための知識の取得、技術の向上を目指す学生	論文等、アカデミックな英文を作成する方法について学ぶ講座です。 日本語と英語の文章作成法の違いを理解し、各様式のParagraph構成と頻出表現を学ぶと共に、使える構文・語彙を拡充し書く力を伸ばします。講座はオールイングリッシュで行われます。
5	プレゼンテーション英語講座～初級編～	オンライン	7/13 (木)	18:00-21:00	20	14	ジェイムズ英会話	¥33,000	・英語でのプレゼンが初めての学生 ・英語プレゼンの基本を知りたい学生	英語プレゼンテーションについての講座です。 良い印象を与え、明確に伝わるプレゼンテーションを行うための基礎を外国人講師から学びます。 日本語でプレゼンをしたことがあるものの、英語でのプレゼンが初心者の学生に適した内容です。
6	TOEIC®勉強法講座	オンライン	9/29 (金)	18:00-21:00	20	16	日米会話学院	¥60,000	・TOEIC®のスコアアップにつながる学習法、テキストを知りたい学生	パート別に、正答率をあげるのに「最適な学習方法」を紹介する講座です。最適な学習方法を「正しいやり方」で学習することで学習時間の効率化をはかります。
7	TOEFL®iBT講座～Speaking & Writingパートを学ぶ～	オンライン	10/5(木)	18:00-21:00	20	13	日米会話学院	¥60,000	・TOEFL iBTまたはITPを受験予定の学生 ・海外留学の準備をしている学生	TOEFL®の対策講座です。 外国人講師からTOEFL iBTの Speaking&Writing パートの攻略法について学びます。TOEFLのスコアアップだけでなく Speaking & Writingのスキルアップもはかれます。
8	TOEIC®講座～600点突破編～	オンライン	10/20 (金)	18:00-21:00	20	9	日米会話学院	¥60,000	・TOEIC®を受験したことがある学生 ・TOEIC600点突破を目指す学生	TOEIC®の対策講座です。 Part1～Part7の特徴と攻略法について学びます。また、講座終了後に自己学習で英語力アップさせることができるようにPart別の学習法も紹介します。
9	社会問題を英語で論じよう ～SDGsに関連するSocial Issueを学ぶ～ ①Food Loss & Waste食料問題	対面 (神楽坂)	10/31 (火)	13:00-17:00	20	3	パークレーハウス	¥80,300	・推奨レベル：TOEIC®スコア650以上の学生 ・英語を使ったディスカッションに関心のある学生 ・社会問題に関心のある学生	英語ネイティブ講師と、社会問題について英語で論じる講座です。 食料問題について、Food LossやFood Wasteなどとの考え方、世界の状況を踏まえて、ディスカッションや発表を行います。
10	英語プレゼンテーション講座 ～初級編～	オンライン	11/10 (金)	18:00-21:00	20	21	ジェイムズ英会話	¥33,000	・英語でのプレゼンが初めての学生 ・英語プレゼンの基本を知りたい学生	英語プレゼンテーションについての講座です。 良い印象を与え、明確に伝わるプレゼンテーションを行うための基礎を外国人講師から学びます。 日本語でプレゼンをしたことがあるものの、英語でのプレゼンが初心者の学生に適した内容です。
11	TOEIC®講座～800点突破講座～	オンライン	11/15 (水)	18:00-21:00	20	13	日米会話学院	¥60,000	・TOEIC®を受験したことがある学生 ・TOEIC800点突破を目指す学生	TOEIC800点突破に向けて、重要なPart及び問題タイプに絞り込み特徴と攻略法について学びます。高得点を狙うための勉強法を紹介し、継続的な勉強を促します。
12	社会問題を英語で論じよう ～SDGsに関連するSocial Issueを学ぶ～ ②Rights/Justice 権利・正義	対面 (野田)	11/29 (水)	13:00-17:00	20	3	パークレーハウス	¥61,960	・推奨レベル：TOEIC®スコア650以上の学生 ・英語を使ったディスカッションに関心のある学生 ・社会問題に関心のある学生	英語ネイティブ講師と、社会問題について英語で論じる講座です。 人権、市民権、正義などを理解しつつ、世界と日本の状況を踏まえながら、ディスカッションや発表を行います。
13	英語プレゼンテーション講座 ～中級編～	オンライン	12/8 (金)	18:00-21:00	20	1	ジェイムズ英会話	¥33,000	・過去、英語でのプレゼンを行ったことがある学生 ・英語でのプレゼンスキルを向上させたい学生	英語プレゼンテーションについての講座です。 英語プレゼンテーションに係る知識・スキルをブラッシュアップし、実際のプレゼンにどう活用するかを学ぶことができます。 講座は全て英語で行います。
14	社会問題を英語で論じよう ～SDGsに関連するSocial Issueを学ぶ～ ③Health 健康	対面 (葛飾)	12/20 (水)	13:00-17:00	20	6	日米会話学院	¥61,000	・推奨レベル：TOEIC®スコア650以上の学生 ・英語を使ったディスカッションに関心のある学生 ・社会問題に関心のある学生	英語ネイティブ講師と、社会問題について英語で論じる講座です。 メンタルヘルスに関連する内容・背景を理解し、自身の周辺の状況なども盛り込みながら、ディスカッションや発表を行います。
15	サバイバルイングリッシュ	対面 (神楽坂)	1/31 (水)	9:00-16:00	20	15	日米会話学院	¥120,000	・対象レベル：初級・中級・上級 ・留学をひかえている学生	ホームステイ・留学先でコミュニケーションを取る際に必要な英語を学ぶ講座です。 豊かな人間関係を築くために必要な語彙・表現・マナー等を習得することができます。講座内の実践演習により、一人でも日常生活に対応できる英会話スキルを習得することができます。
16	技術英語講座	オンライン	2/15 (木) 2/22 (木)	各日 14:00-15:30	20	1日目：11 2日目：4	日本能率協会	¥264,000	・技術英検受験を見据える学生 ・研究における文章作成を学びたい学生 ・文法をしっかりと見直したい学生	技術英語についての講座です。 3 C(Clear,Correct,Concise)の考え方を活用し、伝わる英語論文に必要な英文法の要を習得します。
17	社会問題を英語で論じよう ～SDGsに関連するSocial Issueを学ぶ～ ④Weather 気候	対面 (葛飾)	2/28 (水)	13:00-17:00	20	6	パークレーハウス	¥61,000	・推奨レベル：TOEIC®スコア650以上の学生 ・英語を使ったディスカッションに関心のある学生 ・社会問題に関心のある学生	英語ネイティブ講師と、社会問題について英語で論じる講座です。 世界中で問題となっている気候変動に果たる役割を当惑から発生する問題について考えながら、ディスカッションや発表を行います。
18	ビジネス英語講座	オンライン	3/13(水)	9:00-16:00	20	7	TAC株式会社	¥330,000	・TOEIC® L&R TEST スコア700点以上から900点未満の学生 ・卒業後に英語を使って働きたい学生	ビジネス英語についての講座です。 海外との文化やマナーの違いを理解し、グローバルな『ビジネスシーン』で役立つ実用的な英語力を身に付けることができます。

2023 年度インターナショナルラウンジイベント

	イベント名	形式	開催日	時間	定員	参加者数	依頼先	対象	講座説明
1	日本国外に出るための モヤモヤ解決模索ワークショップ	対面	5月26日	17:30-18:30	対象者 招待制		北加理窓会 熊谷様	・2022年度本学留学プログラム参加者 ・将来のキャリアを海外で築きたいと考えている学生	海外で学びたい・働きたいと考えている学生向けのワークショップイベントです。 海外経験者（留学生・海外で活躍する本学卒業生）を交え議論することで、参加者が将来のキャリア等を考える・実行に移す際の障壁すなわち「モヤモヤ」感じる点についての解決策を模索することを目的としています。
2	BOSCHインターン学生イベント @神楽坂	対面	6月13日	12:10-13:40	20	13	BOSCHインターン学生	・様々な国からの外国人留学生と交流したい学生 ・BOSCHのような国際的な企業で働く様子について聞きたい学生	オンラインで海外の学生と交流するイベントです。 国際色豊かなドイツ企業BOSCHでインターンしている多国籍な学生と英語で交流できます。
3	（英会話）初心者応援イベント ～先生と1対1で話そう～	オンライン	10/23（月）	終日	10	10	アルブロス	・Casual Talkingの利用がはじめての学生 ・英会話に苦手意識のある学生 ・先生とじっくり話したいリーダー学生	英会話のオンラインイベントです。 「英会話が苦手」「他の参加者がいると緊張する…」そんなリクエストにお応えするため、初心者応援日を設けます！1対1で優しい先生たちとゆっくりお話ししましょう。 ※事前予約制のイベントです！
4	（英会話）ハロウィンの過ごし方	オンライン	10/30（月）	終日			アルブロス	・イベント・ハロウィンが好きな学生 ・異文化に興味のある学生	英会話のオンラインイベントです。 先生たちの出身国でのハロウィンの過ごし方を聞いてみましょう！オンラインなので、混雑とも関係なく、コスプレ自由です（公序良俗に反しない範囲に限ります）！イベント好きな方や、異文化に興味のある方におすすめの内容となっております。
5	BOSCHインターン学生イベント @葛飾	対面	11/28（火）	12:10～13:40	20	12	BOSCHインターン学生	・様々な国からの外国人留学生と交流したい学生 ・BOSCHのような国際的な企業で働く様子について聞きたい学生	オンラインで海外の学生と交流するイベントです。 国際色豊かなドイツ企業BOSCHでインターンしている多国籍な学生と英語で交流できます。
6	BOSCHインターン学生イベント @野田	対面	12/7（火）	12:10～13:40	20	11	BOSCHインターン学生	・様々な国からの外国人留学生と交流したい学生 ・BOSCHのような国際的な企業で働く様子について聞きたい学生	オンラインで海外の学生と交流するイベントです。 国際色豊かなドイツ企業BOSCHでインターンしている多国籍な学生と英語で交流できます。
7	（英会話）クリスマス・年末の過ごし方	オンライン	12/22（金）	終日			アルブロス	・英会話に関心のある学生 ・外国文化に関心のある学生 ・英会話初心者	オンライン英会話のクリスマスイベントです。 外国のクリスマスと新年の過ごし方について先生たちが紹介します。和やかな雰囲気の中で英会話することができます。
8	（英会話）初心者応援日 ～先生と1対1で話そう～	オンライン	2/9（金）	終日	各コマ1名 16名	11	アルブロス	・Casual Talkingの利用がはじめての学生 ・英会話に苦手意識のある学生 ・先生とじっくり話したいリーダー学生	英会話のオンラインイベントです。 「英会話が苦手」「他の参加者がいると緊張する…」そんなリクエストにお応えするため、初心者応援日を設けます！1対1で優しい先生たちとゆっくりお話ししましょう。 ※事前予約制のイベントです！
9	（英会話）新生活応援日 ～引っ越し、進学、就職について話そう～	オンライン	3/8（金）	終日			アルブロス	・英会話に関心のある学生 ・外国文化に関心のある学生 ・英会話初心者	英会話イベントです。 外国での新生活について聞いてみましょう。「英会話してみたいけど、何を話せばいいかわからない」と不安な学生におすすめです。新生活の準備と一緒に、英会話もはじめてみましょう。

⑤英語プレゼンテーションコーチングサービス「Brush Up! Presentation」

2023 年 4 月から、英語プレゼンテーション能力の向上及び国際学会等における英語での発表をサポートすることを目的に、各キャンパスにおいて対面及びオンライン形式で、ネイティブ講師による英語プレゼンテーションに関する「模擬プレゼン」、「質疑応答」、「資料デザイン」等のコーチングサービスの提供を開始した。

	前期	後期
講師数	1 名	
期間	2023 年 4 月 13 日から 2023 年 7 月 27 日 (実働 15 日)	2023 年 9 月 14 日から 2024 年 1 月 11 日 (実働 15 日)
時間	毎週木曜日の授業実施日 15:00～17:00 (3 キャンパスの輪番制) 1 日あたり合計 4 コマ (各コマ 30 分)	
利用者数	33 名	18 名
経費	・国際化推進センター予算から支出 ・講師派遣委託費： 9,000 円/1 時間×2 時間×15 日 + 交通費＝ <u>311,260 円</u>	・こよう会国際化推進助成金から支出 ・講師派遣委託費： 9,000 円/1 時間×2 時間×15 日 + 交通費＝ <u>311,256 円</u>

< 4. 大学院生の国際会議発表の促進 >

大学院博士後期課程学生国際学会等派遣事業

大学院博士後期課程学生が、海外で開催される国際学会等で研究発表することを推進し、学生が研究者として国際力を身に付け、知見を広めることで、国際的に貢献できる人材を育成することを目的とする。派遣期間は、14 日以内（日本時間にて、出発日から帰国日までの換算）を対象とする。

【国際化推進センター負担経費】

- ・ 渡航を伴う学会参加の場合：エコノミークラスの往復航空賃の実費

地 域	支給上限額
韓国・台湾	5 万円
東アジア（韓国・台湾を除く）	10 万円
アジア（上記を除く）・大洋州地域	15 万円
南北米大陸・欧州・中近東・アフリカ地域	25 万円

- ・ オンラインでの学会参加の場合：学会参加費（上限 10 万円）

【2023 年度実績】

採択数：34 件

国際化推進センター予算執行額：2,760,252 円

なお、34 件のうち 16 件はイノベティブ博士人材育成プロジェクト対象者であるため、当該事業の予算から経費が執行されている。

	研究科	専攻	国・地域名	都市名	出発日	帰国日	派遣 日数
1	創域理工学研究科	先端化学専攻	アメリカ	ニューオリンズ	2023年6月3日	～ 2023年6月11日	9
2	理学研究科	物理学専攻	韓国	仁川	2023年7月2日	～ 2023年7月7日	6
3	理学研究科	物理学専攻	韓国	仁川	2023年7月2日	～ 2023年7月7日	6
4	理学研究科	物理学専攻	韓国	仁川	2023年7月2日	～ 2023年7月7日	6
5	理学研究科	物理学専攻	アメリカ	ユタ	2023年8月3日	～ 2023年8月12日	10
6	理学研究科	物理学専攻	韓国	ソウル	2023年8月13日	～ 2023年8月18日	6
7	理学研究科	化学専攻	アイスランド	レイキャビク	2023年6月23日	～ 2023年7月1日	9
8	理学研究科	応用物理学専攻	シンガポール	サンテック	2023年6月26日	～ 2023年6月29日	4
9	理学研究科	応用物理学専攻	イスラエル	テルアビブ	2023年6月17日	～ 2023年6月24日	8
10	理学研究科	応用物理学専攻	韓国	仁川	2023年7月2日	～ 2023年7月7日	6
11	創域理工学研究科	先端物理学専攻	チェコ	プラハ	2023年7月22日	～ 2023年7月30日	9
12	創域理工学研究科	先端物理学専攻	ブルガリア	ヴァルナ	2023年6月18日	～ 2023年6月27日	10
13	創域理工学研究科	建築学専攻	ノルウェー	オスロ	2023年6月17日	～ 2023年6月25日	9
14	創域理工学研究科	先端化学専攻	フランス	モンペリエ	2023年6月18日	～ 2023年6月25日	8
15	創域理工学研究科	社会基盤工学専攻	オーストラリア	シドニー	2023年8月27日	～ 2023年9月3日	8
16	理学研究科	物理学専攻	韓国	釜山	2023年9月9日	～ 2023年9月16日	8
17	理学研究科	科学教育専攻	アメリカ	フロリダ	2023年10月14日	～ 2023年10月21日	8
18	工学研究科	機械工学	イタリア	パドヴァ	2023年9月16日	～ 2023年9月22日	7
19	工学研究科	情報工学	イタリア	カターニャ	2023年9月26日	～ 2023年10月1日	6
20	工学研究科	情報工学専攻	中国	海南島	2023年10月15日	～ 2023年10月20日	6
21	創域理工学研究科	機械航空宇宙工学専攻	①スペイン ②イタリア	①バレンシア ②ローマ	2023年9月1日	～ 2023年9月17日	17
22	創域理工学研究科	機械航空宇宙工学専攻	①スペイン ②イタリア	①バレンシア ②ローマ	2023年9月1日	～ 2023年9月17日	17
23	創域理工学研究科	機械航空宇宙工学専攻	イタリア	ローマ	2023年9月9日	～ 2023年9月17日	9
24	理学研究科	化学専攻	中国	江蘇省 溧陽市	2023年9月20日	～ 2023年9月25日	6
25	理学研究科	化学専攻	ベトナム	ホーチミン	2023年10月29日	～ 2023年11月3日	6
26	理学研究科	応用物理学専攻	中国(台湾)	花蓮市	2023年11月26日	～ 2023年11月30日	5
27	理学研究科	応用物理学専攻	アメリカ	ミネアポリス	2024年3月4日	～ 2024年3月10日	7
28	工学研究科	情報工学専攻	オーストラリア	マツコーリー	2023年12月4日	～ 2023年12月9日	6
29	創域理工学研究科	先端化学専攻	アメリカ	ボストン	2023年11月25日	～ 2023年12月3日	9
30	創域理工学研究科	情報計算科学専攻	オーストラリア	メルボルン	2024年1月2日	～ 2024年1月8日	7
31	創域理工学研究科	情報計算科学専攻	オーストラリア	メルボルン	2024年1月2日	～ 2024年1月8日	7
32	創域理工学研究科	電気電子情報工学専攻	タイ	チェンマイ	2023年11月27日	～ 2023年12月3日	7
33	生命科学研究科	生命科学専攻	南アフリカ	ケープタウン	2023年11月26日	～ 2023年12月4日	9
34	工学研究科	情報工学専攻	アメリカ合衆国	ハワイ州 (ホノルル)	2024年2月27日	～ 2024年3月3日	6

< 5. 若手研究者の国際会議派遣の推進 >

若手研究者国際学会派遣事業

海外で開催される国際学会で研究発表する若手研究者に旅費を支給することにより、国際人脈を構築する等、若手研究者のキャリアの早期段階からの国際的な活躍を推進することを目的とする。

【国際化推進センター負担経費】

- ・ 渡航を伴う学会参加の場合：エコノミークラスの往復航空賃（空港までの国内旅費を含む）

地 域	支給上限額
韓国・台湾	5 万円
東アジア（韓国・台湾を除く）	10 万円
アジア（上記を除く）・大洋州地域	15 万円
南北米大陸・欧州・中近東・アフリカ地域	25 万円

- ・ オンラインでの学会参加の場合：学会参加費（上限 10 万円）

【2023 年度実績】

採択数：合計 22 件

- ・ 渡航を伴う学会参加数：22 件
- ・ オンラインでの学会参加数：0 件

国際化推進センター予算執行額：合計 4,426,926 円

- ・ 渡航を伴う学会参加：4,426,926 円
- ・ オンラインでの学会参加者：0 円

	講演の種類	国名	都市名	出発日	帰国日	派遣 日数
1	口頭発表	イギリス	ノーリッジ	2023年6月21日	～ 2023年6月26日	6
2	口頭発表	韓国	インチョン	2023年8月15日	～ 2023年8月18日	4
3	口頭発表	フランス	ナンシー	2023年7月1日	～ 2023年7月8日	8
4	口頭発表	オランダ	デルフト	2023年7月6日	～ 2023年7月16日	11
5	口頭発表	オーストラリア	シドニー	2023年7月23日	～ 2023年7月28日	6
6	口頭発表	オーストラリア	シドニー	2023年7月23日	～ 2023年8月2日	11
7	口頭発表	スロベニア	リュブリャナ	2023年9月16日	～ 2023年9月25日	10
8	口頭発表	カザフスタン	アスタナ	2023年8月11日	～ 2023年8月19日	9
9	口頭発表	カナダ	モントリオール	2023年7月17日	～ 2023年7月23日	7
10	口頭発表	カナダ	モントリオール	2023年7月17日	～ 2023年7月23日	7
11	口頭発表	イタリア	バーリ	2023年7月23日	～ 2023年7月29日	7
12	口頭発表	トルコ	イスタンブール	2023年7月2日	～ 2023年7月10日	9
13	招待講演	アメリカ	ハワイ	2023年11月25日	～ 2023年12月3日	9
14	口頭発表	スウェーデン	ヨーテボリ	2023年10月7日	～ 2023年10月13日	7
15	口頭発表	アメリカ	ミネアポリス	2024年3月3日	～ 2024年3月10日	8
16	招待講演	アメリカ	フロリダ	2024年1月27日	～ 2024年2月4日	9
17	口頭発表	アメリカ	ワシントンD.C.	2023年11月18日	～ 2023年11月24日	7
18	口頭発表	韓国	広州市(京畿道)	2023年11月15日	～ 2023年11月18日	4
19	口頭発表または ポスター発表	アメリカ	ワシントンD.C.	2024年1月6日	～ 2024年1月13日	8
20	ポスター発表	中国	深圳市	2023年11月4日	～ 2023年11月10日	7
21	口頭発表	タイ	コーンケン	2023年11月25日	～ 2023年11月29日	5
22	招待講演	スウェーデン	ヨーテボリ	2023年10月6日	～ 2023年10月14日	9

< 6. 外国人教員の増員並びに研究室の国際化の推進 >

(1) 外国人教員の雇用

外国人教員の雇用状況

【2023 年度実績】 54 名/ (2022 年度実績 50 名)

本学専任教員数 (職名別)

2023 年 5 月 1 日現在

所属 学部等	学科・専攻	教授			准教授			講師			助教			計		
		計	内訳		計	内訳		計	内訳		計	内訳		計	内訳	
			女性	外国籍		女性	外国籍		女性	外国籍		女性	外国籍		女性	外国籍
学校法人	東京理科大学	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	1	0	
理学部 第一部	数学科	7	1	0	4	2	0	1	0	0	8	0	0	20	3	0
	物理学科	8	1	0	3	0	1	0	0	0	5	1	0	16	2	1
	化学科	6	0	0	6	0	0	0	0	0	6	0	0	18	0	0
	応用数学科	8	1	0	3	0	0	1	1	1	7	0	0	19	2	1
	応用化学科	10	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	14	0	0
理学部第一部		39	3	0	18	2	1	2	1	1	28	1	0	87	7	2
理学部 第二部	数学科	4	1	0	3	0	0	1	0	0	4	0	0	12	1	0
	物理学科	5	0	1	2	0	0	0	0	0	4	1	1	11	1	2
	化学科	4	0	0	2	1	0	3	0	0	2	0	0	11	1	0
理学部第二部		13	1	1	7	1	0	4	0	0	10	1	1	34	3	2
薬学部	薬学科	18	2	0	6	1	0	3	1	0	13	5	1	40	9	1
	生命創薬科学科	9	0	0	3	0	0	0	0	0	7	2	0	19	2	0
薬学部		27	2	0	9	1	0	3	1	0	20	7	1	59	11	1
工学部	建築学科	9	1	0	4	2	0	0	0	0	9	1	3	22	4	3
	工業化学科	6	0	0	5	1	0	1	0	0	5	1	0	17	2	0
	電気工学科	10	0	0	3	0	0	0	0	0	5	2	1	18	2	1
	情報工学科	6	1	0	6	1	0	1	0	0	4	0	1	17	2	1
	機械工学科	8	0	0	4	0	0	0	0	0	8	0	1	20	0	1
工学部		39	2	0	22	4	0	2	0	0	31	4	6	94	10	6
創域 理工学部	数理科学科	8	3	0	4	0	0	3	0	0	3	0	0	18	3	0
	先端物理学科	10	0	0	3	0	0	0	0	0	8	1	0	21	1	0
	情報計算科学科	5	1	0	4	1	0	3	1	0	7	1	0	19	4	0
	生命生物科学科	5	0	0	7	2	0	0	0	0	7	2	0	19	4	0
	建築学科	9	1	0	2	0	0	1	0	0	8	1	4	20	2	4
	先端化学科	8	0	0	5	0	0	0	0	0	6	2	0	19	2	0
	電気電子情報工学科	10	0	0	6	0	0	1	1	0	4	0	0	21	1	0
	経営システム工学科	6	1	0	3	0	0	1	1	1	4	2	2	14	4	3
	機械航空宇宙工学科	11	0	0	3	0	0	1	0	0	5	0	1	20	0	1
	社会基盤工学科	10	0	0	2	0	0	0	0	0	6	1	0	18	1	0
創域理工学部		82	6	0	39	3	0	10	3	1	58	10	7	189	22	8
先進 工学部	電子システム工学科	7	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0
	マテリアル創成工学科	10	0	0	2	0	0	0	0	0	6	1	1	18	1	1
	生命システム工学科	7	2	0	5	0	0	0	0	0	7	2	1	19	4	1
	物理工学科	8	0	0	3	0	0	1	0	0	6	1	3	18	1	3
	機能デザイン工学科	6	0	0	4	0	0	0	0	0	4	0	0	14	0	0
先進工学部		38	2	0	19	0	0	1	0	0	23	4	5	81	6	5
経営学部	経営学科	8	2	0	3	1	1	5	3	0	2	0	1	18	6	2
	ビジネスエコノミクス学科	8	0	1	1	0	0	3	0	0	3	2	0	15	2	1
	国際デザイン経営学科	5	1	0	4	2	1	2	1	0	2	1	0	13	5	1
経営学部		21	3	1	8	3	2	10	4	0	7	3	1	46	13	4
創域理工学研究科	国際火災科学専攻	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0
創域理工学研究科		4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0
経営学研究科	技術経営専攻	11	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	12	2	0
経営学研究科		11	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	12	2	0
教養教育 研究院	神楽坂キャンパス教養部	16	2	0	10	6	2	4	2	2	2	1	0	32	11	4
	葛飾キャンパス教養部	10	2	2	12	4	1	8	5	3	1	0	1	31	11	7
	野田キャンパス教養部	10	1	0	14	2	1	3	1	1	2	0	2	29	4	4
	北海道・長万部キャンパス教養部	5	1	0	5	0	1	4	1	2	0	0	0	14	2	3
教養教育研究院		41	6	2	41	12	5	19	9	8	5	1	3	106	28	18
教育支援 機構	教職教育センター	6	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	8	1	0
	理数教育研究センター	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
教育支援機構		7	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	9	1	0
研究推進 機構	総合研究院	3	0	1	2	0	0	6	1	1	9	0	3	20	1	5
	生命医科学研究所	7	0	0	5	0	0	3	0	0	8	3	3	23	3	3
研究推進機構総合研究院		10	0	1	7	0	0	9	1	1	17	3	6	43	4	8
	産学連携機構	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	データサイエンスセンター	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	総計	342	29	5	173	26	8	61	19	11	199	34	30	775	108	54

(2) 外国人留学生獲得による研究室の国際化の推進

①国費外国人留学生制度

文部科学省では、世界の発展に貢献する人材を育成する目的や、大学の主体的な留学生交流を促進し国際競争力の強化を図る観点から、国費外国人留学生制度を設けている。本学では次の受入れ形態がある。

I. 大使館推薦

在外公館が主体となり海外に在住する学生を現地における選考試験の結果に基づき推薦する制度。
※奨学金、教育費(大学における入学金、授業料及び入学検定料)、旅費(渡日旅費、帰国旅費)は、文部科学省が負担する。

II. 大学推薦（一般枠・特別枠）

大学が主に大学間交流協定等を締結する海外の大学と協力して海外に在住する学生を新規渡日者として推薦する制度。

【一般枠】例年学内公募制となっており、要件を満たす留学生を国際化推進センターで選考し、本学から推薦している。

【特別枠】本学の創域理工学研究科国際火災科学専攻が 2021 年度「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」に採択されており、年度毎に優先配置枠数 6 名を獲得している。優先配置期間は 2022 年度新規渡日分から 3 年間である。

<奨学金給付金額>

月額 143,000 円（研究生等）

月額 144,000 円（修士課程及び専門職学位課程）

月額 145,000 円（博士課程）

（特定の地域において就学・研究する者に対し、月額 2,000 円または 3,000 円を月額単価に加算。
なお、予算の状況により各年度で金額は変更される場合がある）

<奨学金給付期間>

奨学金支給期間は、渡日後に在籍するそれぞれの課程によって異なる。

大学院修士課程、博士課程及び専門職学位課程に在籍する場合、標準修業年限とする。また、研究生等から大学院の正規課程等に進学希望の者で、一定の基準を満たす特に成績優秀な者については、進学に伴う奨学金支給期間の延長審査を受け、奨金支給期間が延長されることがある。

2023 年度 国費外国人留学生数

大使館推薦による国費外国人留学生	1 名
大学推薦による国費外国人留学生（一般枠・特別枠）	22 名
合 計	23 名

②マレーシアツイニングプログラム

マレーシア政府の資金によるマレーシア日本高等教育プログラム(MJHEP) とコンソーシアムを組む日本の大学（加盟校 24 大学）が、現地で 3 年間の準備教育、専門基礎教育（電気系・機械系）を受けたマレーシア人学生を 3 年次に編入学させるプログラムである（2010 年度から受入れ開始）。

2022 年度（2023 年度入試）から新たに UniKL JUP プログラムが実施されており、2023 年度、本学では、工学部電気工学科及び機械工学科、創域理工学部電気電子情報工学科及び機械航空宇宙工学科の 4 つの学科が 11 月に編入学試験を実施した。この結果、2023 年度は 4 名の留学生の入学が決定した。

【入学者実績】

学部	学科	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
工学部	電気工学科	0	実施なし	1	1
	機械工学科	0		0	0
創域理工学部	電気電子情報工学科	0		0	2
	機械航空宇宙工学科	2		0	1

③IAESTE による海外学生の受入れ

IAESTE（The International Association for the Exchange of Students for Technical Experience）が仲介を行う、理工農薬学系国際インターンシップ制度である。日本では一般社団法人日本国際学生技術研修協会が事務局を務め、欧米を中心に研修生を受け入れている。

【国際化推進センター負担経費】

滞 在 費：30,000 円/週、宿舍手配料：12,000 円/人

【2023 年度実績】

受入研修生数：10 名

国際化推進センター予算執行額：2,838,000 円

	受入学部	学科	国籍	受入期間	在籍日数
1	工学部	機械工学科	チュニジア	2023年5月8日 ～ 2023年7月28日	82
2	工学研究科	機械工学専攻	フランス	2023年6月5日 ～ 2023年9月1日	89
3	工学部	建築工学科	ルーマニア	2023年9月19日 ～ 2023年11月10日	53
4	工学部	機械工学科	オーストラリア	2023年10月30日 ～ 2023年12月22日	54
5	工学研究科	機械工学専攻	ポーランド	2023年7月31日 ～ 2023年9月29日	61
6	先進工学研究科	マテリアル創成工学専攻	ドイツ	2023年10月4日 ～ 2023年12月1日	59
7	薬学部	薬学科	スロバキア	2023年7月3日 ～ 2023年9月1日	61
8	薬学研究科	薬科学専攻	インド	2023年7月3日 ～ 2023年8月9日	38
9	薬学研究科	薬科学専攻	スロバキア	2023年9月4日 ～ 2023年11月2日	60
10	創域理工学研究科	機械航空宇宙工学専攻	ドイツ	2023年8月28日 ～ 2023年10月27日	61

④独立行政法人国際協力機構（JICA）事業による海外学生の受入れ

JICA が実施する、外国人を日本の大学の正規学生として受け入れる事業「JICA 研修員（学位課程就学者）制度」を通じ、2023 年 10 月から 1 名の受入れを開始した。

研修員の大学受験に係る費用、入学金、授業料等は全て JICA から大学に直接支払われる他、研修員の生活費も奨学金の形で支給される。

JICA 研修員は、将来途上国等において指導的立場に就く可能性のある人材であり、彼らを育成することが、我が国とそれらの国の関係強化につながる他、本学としては彼らを受け入れることによる国際化の推進、教育や研究水準の向上が期待できる。

【2023 年度実績】

受入研修生数：1 名（所属：理学研究科化学専攻 国籍：インド）

コース名：インド工科大学ハイデラバード校日印産学研究ネットワーク構築支援プロジェクト

受入期間：2023 年 10 月 1 日～2024 年 3 月 31 日 研究生

2024 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日 博士後期課程

⑤国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム：SSP）」

JST が実施する本事業は、産学官の緊密な連携により、諸外国・地域の優秀な青少年に日本の先端的な科学技術に触れる機会を提供することを通して、科学技術イノベーションに貢献しうる海外からの優秀な人材との継続的な研究等の交流を促進することを目的とするものである。

【交流形態】

◆さくら招へいプログラム

○A コース「科学技術体験コース」

日本の先端的な科学技術に触れる機会と日本の研究者・学生等との交流体験を通して、科学技術分野における継続的な交流を促進する。

○B コース「共同研究活動コース」

国際共同研究のテーマや計画の策定、予備的な実験等、共同研究を開始する、あるいは具体的な共同研究に参加させる活動を対象とする。

○C コース「科学技術研修コース」

送出し国・地域のニーズあるいは地球規模課題の解決に資する科学技術に関する具体的な技術・能力の習得の機会を提供する活動を対象とする。

◆さくらオンラインプログラム

前述の趣旨・目的に沿ったものであることを前提にオンラインだからこそ可能となる交流を実施する。

【2023 年度実績】 さくら招へいプログラム：2 件 （支援金総額：8,784,368 円）

	コース	所属	受入機関	国名	招へい人数	支援金合計
1	C	理数教育研究センター	ドミニカ共和国数学体験館、教皇庁カトリカ・マドレ・マエストラ大学、サロメ・ウレーニャ教員養成大学、教育省国際数学オリンピック委員会	ドミニカ共和国	10	¥5,515,665
2	B	理学研究科物理学専攻	ベトナム国家大学ハノイ校、ミンダナオ州立大学イリガン工科大学、VIT-AP 大学	ベトナム、フィリピン、インド	9	¥3,268,703

⑥双方向交流プログラム派遣及び受入れ

本学が協定を結ぶ海外の大学との間で学生の相互短期派遣を行い、国際感覚を培うことを目的としている。

本学学生の派遣は1週間程度で、派遣先の大学の講義の受講や、その国の文化などを体験する。なお、本学で海外の大学の学生を受け入れる際には、当該大学に派遣した学生も引率補助などホスト役として参加し、異文化交流を促進する。

海外からは協定校の学生を1週間程度受け入れ、本学授業の受講や研究室での共同研究や日本文化体験等を行う。また、先に当該大学に派遣した学生もホスト役として参加し、派遣・受入のお互いの立場を入れ替えて、異文化交流を行う。

【2023 年度実績】 派遣：0 件 受入：0 件

⑦さくらサイエンスプログラム双方向交流派遣

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の国際青少年サイエンス交流事業（SSP）を通じて、本学に受入れた機関に対し、本学の教員及び学生を派遣して、双方向で交流を深めることを目的としている。

【2023 年度実績】

派遣：1 件

国際化推進センター予算執行額：982,906 円

No.	所属	派遣機関	国名	派遣人数	金額
1	理学部第二部物理学科、 理学研究科物理学専攻	ベトナム国家大学ハノイ校	ベトナム	8※	¥982,906

※ 教員 1 名を含む。

⑧ビザ取得支援

本学の国際化推進支援のため、国際化推進センターでは、本学で直接雇用する外国人研究者、又は本学に新規入学予定である外国人留学生に向けて、長期滞在者向けの在留資格交付申請を代行している。

在留資格認定証明書に係る事務手続きを円滑に進めるため、学外行政書士法人と業務委託契約を結び、在留資格申請者の負担軽減に努めている。一定の要件を満たす場合の業務委託料は、国際支援課予算から支出している。当課において支援する在留資格の種類は、「教授」及び「留学」である。

2023 年度サービスを通しての在留資格認定証明書申請件数

在留資格	種別	件数
教授	ポストドクトラル研究員	7
	嘱託助教	1
留学	協定校等からの非正規留学生	16
	学位取得を目的とした正規留学生	25

【2023 年度実績】

申請件数：49 件

予算執行額（国際支援課予算）：1,509,200 円

⑨学内宿泊施設の管理・利用促進

グローバル人材の育成、国際交流の場の提供を目的とし、野田キャンパス内に「野田国際コミュニティハウス」を設置している。

コミュニティハウス内には、ハウスアシスタント（以下「HA」という）と呼ばれる日本人留学生とペアで居住するシェアルームがあり、国際化推進センター事業で受入れる短期滞在の外国人留学生が当施設へ入居し、日々の生活のサポートをHAがサポートしている。

協定校等からの受入れ学生が入居を希望する場合、一定の期間、国際化推進センター予算で外国人留学生の利用料の補助をしている。

【2023 年度実績】

外国人留学生：5 名

国際化推進センター予算執行額：270,000 円

国籍	入居者数
台湾	2名
ナイジェリア	1名
中国	1名
イギリス	1名

（3）英語を用いた指導による研究室の国際化の推進

教育職員・博士後期課程学生向け英語講座

教員の英語プレゼンテーションや英語を用いた講座運営に必要な技術の向上を目的として、2014 年度から教育 DX 推進センターとの共催で、FD セミナーを開催してきた。

2023 年度は上記教員向け英語講座に加え、中期計画 2026 の重点課題「大学院生・若手研究者の国際会議での発表促進」に資するべく、プレ FD セミナーとして博士後期課程学生向け英語講座を実施した。

【教育職員向け英語講座（ポストドクトラル研究員含む）】

▶第 1 回セミナー：英語プレゼンテーション・Q&A 実践トレーニング講座

開催日時：2023 年 8 月 29 日（火）9：00～12：10

形式：オンライン（Zoom）

定員：10 名

参加者：4 名

講師：Joe Hüg 講師（一般財団法人国際教育振興会 日米会話学院）

国際化推進センター予算執行額：64,200 円

▶第2回セミナー：アカデミック英会話講座

開催日時：2023 年 9 月 5 日（火）13：30～16：30

定 員：8 名

参 加 者：7 名

形 式：対面及びオンライン（Zoom）

講 師：David McClellan 講師（株式会社アルクエデュケーション）

国際化推進センター予算執行額：276,926 円

【博士後期課程及び博士課程学生向け英語講座】

▶第1回セミナー：アカデミック英会話講座

開催日時：2023 年 6 月 27 日（火）9：00～12：00

定 員：8 名

参 加 者：7 名

形 式：オンライン（Zoom）

講 師：Dwayne Gregory 講師（株式会社アルクエデュケーション）

国際化推進センター予算執行額：275,000 円

▶第2回セミナー：英語プレゼンテーション・Q&A 実践トレーニング講座

開催日時：2023 年 6 月 28 日（水）14：00～17：00

※当初は午前・午後の2回での実施予定だったが、参加希望者が少数だったため、
午後のみ実施とした。

定 員：10 名（午前の部 5 名・午後の部 5 名）

参 加 者：3 名

形 式：オンライン（Zoom）

講 師：Joe Hüg 講師（一般財団法人国際教育振興会 日米会話学院）

国際化推進センター予算執行額：64,200 円

<7. その他>

(1) 学生への情報提供の充実、学習成果の証明

① 留学・国際交流パンフレットの作成、Web サイトの更新

国際化推進センターで実施している海外留学プログラム等の学内広報を目的にパンフレットを作成し、学生の父母、新入生、留学説明会参加者及び希望する学生等へ配布している。父母懇談会やオープンキャンパスでも配布を行っている。

また、Web サイトの更新を頻繁に行い、最新の情報を提供している。

国際化推進センター予算執行額：1,101,870 円

②チャットボットの導入・活用

2023 年 5 月 8 日から、チャットボットを運用している。チャットボットは本学ホームページ内及び LETUS に設置し、学生からの質問・要望を適宜 FAQ に反映させる形で活用している。これにかかる費用は国際支援課予算から支出している。

予算執行額（国際支援課予算）：1,320,000 円

③LINE

学内広報強化の一環として、2018 年 6 月から LINE による情報配信を行っている。

2024 年 3 月 31 日時点で友達数（登録者数）は 1,523 人で、インターナショナルラウンジイベント、国際化推進センター各種事業募集などの情報に関して、定期的にメッセージを発信している。これにかかる費用は国際支援課予算から支出している。

予算執行額（国際支援課予算）：209,000 円

④オープンバッジの発行

2023 年度は、本学学生で国際化推進センターが主催する対象講座（全 3 講座）を受講した学生のうち希望者に、オープンバッジを発行した。

＜国際化推進センター主体の発行＞

No	講座実施日	講座名称	バッジ付与数
1	2023 年 7 月 13 日	プレゼンテーション英語講座 ～初級編～	13
2	2023 年 11 月 10 日	プレゼンテーション英語講座 ～初級編～	13
3	2023 年 12 月 11 日	英語プレゼンテーション講座～中級編～	1

なお、本学では、オープンバッジの全学導入のため、2023 年 10 月にオープンバッジ事務局を発足させ、オープンバッジに関する全学的ガイドラインを作成し、2023 年度末から本学で発行する全てのオープンバッジの管理を行っている。オープンバッジガイドラインに基づいて発行されたバッジは以下のとおりである。

＜全学導入後：オープンバッジガイドラインに基づく発行＞

No	発行日	バッジ名称	バッジ付与数
1	2024 年 3 月 31 日	カリフォルニア大学 1 年留学プログラム	2

これらの経緯に伴い、2024 年度以降はオープンバッジ事務局がオープンバッジ管理の主体となり、発行を行う。

※ オープンバッジとは、紙での証明書に代わるデジタル化された証明書である。オンライン上でオープンバッジを公開することができ、保持者の能力を第三者に証明できる。一般財団法人オープンバッジ・ネットワークは、ブロックチェーン技術による信頼性の高いプラットフォームを有しており、会員に対してオープンバッジ発行に関するサービスを提供している。本学は 2022 年 3 月に一般財団法人オープンバッジ・ネットワークに入会した。

（２）海外留学等における危機管理のための施策

①J-TAS 利用

特定非営利活動法人海外留学生安全対策協議会（JCSOS）が提供する、派遣学生向け・教育機関向けの危機管理サービスを、J-TAS サービスと呼ぶ。

派遣学生向けには、海外留学生サポートサービス（日常のトラブルから緊急時の相談まで 24 時間 365 日受け付ける）や、医療アシスタンスサービス（日本人の看護師・救急医が 24 時間 365 日応対し、精神科を含む専門的医療相談をカバー）となっている。

大学向けには、派遣学生、大学、アシスタンス会社、保険会社と情報を共有することで一元化し、傷害・事故の際には、一報を受けたアシスタンス会社の判断で迅速な初動対応を行い、事故処理までを海外旅行保険（渡航者契約）、学校向け危機管理サポートなどと組み合わせて行う。

利用件数：139 件

国際化推進センター予算執行額：869,081 円

②危機管理研修の実施

本研修は隔年度で実施しており、2023 年度は、2021 年度実施の海外安全危機管理研修(危機管理に関する概括的な内容)からポイントを絞り、かつ、最新事情を盛り込み「海外に学生を送り出した場合に発生するリスク」についてより実践的な内容を学ぶことを目的として実施した。これにかかる費用は国際支援課予算から支出している。

【実施内容】

期 間：2023 年 11 月 1 日から 12 月 31 日

実施方法：e-ラーニング形式にて自席にて受講

対 象 者：専任教職員（嘱託専任扱い含む）

実施内容：四部構成

〔第 1 部〕 海外渡航時の注意点

〔第 2 部〕 最新の国際情勢・地政学的リスク概論

〔第 3 部〕 海外渡航時の心構え及び危機に遭遇した際の対応

予算執行額（国際支援課予算）：660,000 円

(3) 学外団体の利用

①トビタテ！留学 JAPAN 新日本代表プログラム

文部科学省では、2013 年度から日本の若者の海外留学を後押しする「トビタテ！留学 JAPAN」を官民共同で推進している。2020 年度までの実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で 2022 年度まで延長された第 1 ステージの事業では、本学では留学奨学金「日本代表プログラム」第 1 期～第 14 期への申請及び奨学金支給に関する支援を行ってきた。

コロナ禍で落ち込んだ留学生数をコロナ前の水準に早期に回復させることを目指し 2023 年度から 2027 年度までの 5 年間、第 2 ステージの実施が決定した。その一環である留学奨学金「新・日本代表プログラム」について、本学では引き続き申請及び奨学金支給に関する支援を行っている。

2023 年度（第 15 期）実績

申請者数：5 名

採択者数：1 名

国際化推進センター予算執行額：執行なし

②日本学生支援機構（JASSO）留学生支援事業

日本学生支援機構（JASSO）は、グローバル化が進展する中、留学生交流を推進するため、外国人留学生の受入・日本人学生の派遣の両面から奨学金の支給等の支援事業を実施しており、以下の事業について、本学では国際化推進センターが申請に係る事務を担っている。

2023 年度支援実績（2022 年度に申請）

【募集事業】

▶海外留学支援制度 大学院学位取得型：継続支援者 1 名(新規採用者なし)

以下の事業については今年度の申請者なし。

▶海外留学支援制度 協定派遣・受入

▶留学生受入れ促進プログラム（文部科学省外国人学生学習奨励費）予約制度

▶帰国外国人留学生短期研究制度

▶帰国外国人留学生研究指導事業

▶留学生借り上げ宿舍支援事業

▶第一種奨学金（海外大学院学位取得型）

▶第一種奨学金（海外協定派遣対象）

▶第二種奨学金（海外）

▶第二種奨学金（短期留学）

▶東京国際交流館 留学生（非正規生）・研究者宿舍入居者申請

国際化推進センター予算執行額：執行なし

③ 日本学術振興会（JSPS）

日本学術振興会（JSPS）は、我が国の学術研究及び国際化の進展を図り、日本人研究者の海外派遣に係る事業や諸外国の優秀な研究者を招へいする事業を実施している。以下の事業について本学では国際化推進センターが申請に係る事務を担っている。

【募集事業】

I. 研究者養成事業

- ▶ 海外特別研究員：2023 年度採択 1 件（申請 3 件）
- ▶ 若手研究者海外挑戦プログラム：2023 年度申請者なし

II. 国際交流事業

- ▶ 外国人特別研究員（一般）：2023 年度採択 1 件（申請 7 件）
- ▶ 外国人特別研究員（欧米短期）：2023 年度採択 1 件（JSPS からの受入依頼 1 件）
- ▶ 外国人招へい研究者（短期）：2023 年度採択 2 件（申請 2 件）

以下の事業については 2023 年度の申請者なし。

- ▶ 外国人特別研究員（サマー・プログラム）
- ▶ 外国人招へい研究者（長期）
- ▶ 外国人再招へい研究者
- ▶ リンダウ・ノーベル賞受賞者会議派遣事業
- ▶ 特定国派遣研究者
- ▶ 先端科学（FoS）シンポジウム

国際化推進センター予算執行額：執行なし

④ JAFSA

国際化に資する種々の情報を収集するため、本学は JAFSA（国際教育交流協議会）に加盟している。JAFSA は、1968 年に設立され 2003 年に法人格を取得した特定非営利活動法人（NPO）で、300 以上の大学・教育機関・企業を会員団体とするネットワーク組織である。

提供されるサービス：人材育成（各種研修・セミナー等）、海外フェアへの参加等

国際化推進センター予算執行額：年会費 150,000 円

⑤JCSOS

学生や大学等の教育機関に対し、危機管理セミナーの実施や海外安全情報の提供等を行うことを通じて、海外で学ぶ日本人学生の安全を図ることを目的として設立された特定非営利活動法人海外留学生安全対策協議会（JCSOS）に加盟している。

提供されるサービス：J-TAS（JCSOS トータルアシスタンスサービス）、
危機管理コンサルティング

国際化推進センター予算執行額：年会費 100,000 円

⑥IAESTE

世界規模での技術的発展、国際理解と親善を促進し、質の高い実践的な滞在費支給型海外インターンシッププログラムを提供する非営利・非政府団体 IAESTE（イアエステ）に加盟し、本学内でのインターンを希望する学生を受入れている。IAESTE は、1948 年にイギリスで設立され 累計 35 万人以上のインターンシップ生を輩出し、世界 80 カ国以上に支部を持つ世界最大級のインターンシップ斡旋組織となっている。

提供されるサービス：海外インターンシップ学生受入れの斡旋

国際化推進センター予算執行額：年会費 400,000 円

⑦米国非営利教育財団 スタディ・アブロード・ファウンデーション（SAF）

約 180 を超える名門大学の国際的な大学ネットワークを有する SAF と連携し、本学学生の私費留学や短期留学を支援している。2023 年度、同団体のプログラムに関する本学学生からの留学申込状況は次のとおり。

	形態	プログラム	派遣先国	学部学科	期間
1	渡航	分野別短期研修	アイルランド	創域理工学部 情報計算科学科	2023年8月16日 ～ 8月31日
2	渡航	分野別短期研修	アイルランド	理学部第一部 物理学科	2023年8月16日 ～ 8月31日
3	渡航	分野別短期研修	アイルランド	創域理工学部 電気電子情報工学科	2023年8月16日 ～ 8月31日
4	渡航	語学	アメリカ	経営学部 国際デザイン経営学科	2023年9月 ～ 2024年3月
5	渡航	語学	カナダ	理学部第一部 物理学科	2023年8月 ～ 2024年3月
6	渡航	学部＋インターンシップ	イギリス	経営学部 国際デザイン経営学科	2023年9月 ～ 2024年5月
7	渡航	語学	アイルランド	経営学部 国際デザイン経営学科	2024年3月 ～ 2024年12月

(4) 外国人留学生数

外国人留学生数の状況

【2023 年度実績】 834 名/ (2022 年度実績 782 名)

国・地域名	学部		修士		博士		専門職学位		研究生		合計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
中国	304	166	64	28	17	5			10	4	598
韓国	129	41	3	1	2	1					177
フランス									4	5	9
台湾	6					1					7
マレーシア	6			1							7
インドネシア	4	2									6
バングラデシュ			4		1	1					6
ベトナム	1		1	2	2						6
タイ			2			2	1				5
エジプト					2	1					3
香港	2										2
モンゴル	2										2
ミャンマー					1						1
フィリピン						1					1
イタリア	1										1
アメリカ		1									1
ペルー		1									1
カナダ	1										1
合計	456	211	74	32	25	12	1		14	9	834

